

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語	5	2年1組～3組

使用教科書	副教材
新編 新しい国語2 (東京書籍)	カラー 小倉百人一首 (京都書房) 常用漢字ダブルクリア (尚文出版) 練成テキスト 中2国語 (育伸社)

1. 学習の目標

語彙・漢字・文法といった基礎的な知識の習得と、文章を構造的に読み解く習練を通じて、文章を正確に理解する力を涵養する。また古典に親しむための初歩的な知識 (古文単語・漢文訓点・古典文法) について学ぶ。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
国語への関心が高く、自ら進んで文章に接し、理解の幅を拡げようとしている。	他者の発言・文章を正確に理解し、また自分の考えを明快なことばで表現できる。	目的に応じた読みやすい文字を、正しい筆順・形で書くことができる。	読書が生活の中に無理なく浸透し、あらゆる種類の文章を正確に理解することができる。	偏った知識にとらわれず、ものごとを多角的にとらえ考えることができる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	未来へ	詩の意味を捉え、読み方を工夫する。	定期試験 朝テスト 提出物 ノート 発表・発言
		メッセージをどう聞くか	自分自身の経験に照らし合わせて、作品を読み深める。	
		短歌を楽しむ	短歌の形式や表現について学ぶ。 短歌の表現の工夫などを捉えて鑑賞したことをまとめる。	
		短歌のリズムで表現しよう	自然や体験の描き方を工夫して短歌を創作する。	
	5	方言と共通語・敬語	さまざまな言葉のあり方を知る。	
		字のない葉書	登場人物の言動の意味に注意して、作品を味読する。	
		卒業ホームラン	登場人物の価値観や考え方を捉え、自分の考えを持つ。	
6	鯉節—世界に誇る伝統色	文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読み取る。		
	枕草子 清少納言と紫式部	女房文学が生まれた背景や作者の人物像について知る。 古典特有の言葉遣いや文法に慣れ、文章を正確に読解する。古典特有のリズムを味わいながら音読する。		
	7	用言の活用	口語文法の基礎を確認しその定着をはかる。	
2	9	哲学的思考のすすめ	論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。	定期試験 小テスト 提出物 ノート 発表・発言
		助詞の働き	口語文法の基礎を確認しその定着をはかる。	
		走れメロス	人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み味わう。	
		徒然草	現代語訳を手がかりにして、内容を読み取る。	
	10	落葉松	詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取る。	
		「正しい」言葉は信じられるか	事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考える。	
		歴史の物差し—水月湖の年縞	さまざまな情報源からの情報を比べてまとめる。	
11	漢詩 漢詩の世界	漢詩の形式を理解し、情景や作者の心情を捉える。 漢詩の味わい方を学ぶ。		
	話し言葉と書き言葉	それぞれの長所と注意点を知る。		

	12	助動詞の働き	口語文法の基礎を確認しその定着をはかる。	
3	1	坊ちゃん	文学作品を読み、登場人物の考え方や人柄などについて考える。	定期試験 小テスト 提出物 ノート 発表・発言
		私が一番きれいだったとき	心情が読み取れることばに注意して詩を読む。	
		平家物語	登場人物の状況や気持ちを捉えるとともに、当時の武士の生き方について読み取る。	
	2	古文文法基礎 (用言)	古文の用言について学ぶ。	
		3	問題演習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。
定期テストの前1週間には原則として問題演習（練成テキスト）を取り入れる。